

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月10日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL <https://www.advanex.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 精也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役最高財務責任者(氏名) 吉原 哲也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,647	6.0	△165	—	181	14.5	21	△47.9
2022年3月期第1四半期	5,330	42.7	104	—	158	—	40	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 520百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.17	5.16
2022年3月期第1四半期	9.95	9.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	27,548	7,401	26.8
2022年3月期	25,208	6,922	27.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,392百万円 2022年3月期 6,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	10.5	400	169.8	300	△15.4	120	—	29.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	4,153,370株	2022年3月期	4,153,370株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	45,063株	2022年3月期	44,925株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	4,108,371株	2022年3月期1Q	4,097,879株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナによる行動制限が緩和されたものの、ゼロコロナ政策を継続する中国のロックダウン、世界的なインフレに加え、前年から続く半導体不足、物流ひっ迫、原油や天然ガスなどエネルギーコストの高騰などにより不透明な状況が続いています。当社の主要市場である自動車業界は、需要こそ旺盛であるものの半導体不足や中国上海のロックダウンの影響により生産計画の下方修正が相次ぐなど厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第1四半期連結期間の売上高は前年同四半期比6.0%増の56億47百万円となり、営業損失は1億65百万円（前年同四半期は1億4百万円の利益）となりました。経常利益は為替差益が発生したことから同14.5%増の1億81百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は上海ロックダウンによる中国子会社の操業停止費用を特別損失に計上したことから同47.9%減の21百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 日本

半導体不足や上海ロックダウンにより自動車向けの生産調整が相次ぎ、売上高は前年同四半期比2.1%減の21億7百万円となりました。セグメント利益は原材料費高騰の影響などもあり同93.2%減の8百万円となりました。

② 米州

アメリカ子会社のテネシー新工場の操業遅延があったものの、メキシコ工場の生産立上げが進んだことから、売上高は前年同四半期比9.7%増の6億55百万円となりました。セグメント損失は、テネシー新工場の操業遅延や原材料費高騰の影響などもあり2億83百万円（前年同四半期は2億22百万円の損失）となりました。

③ 欧州

航空機向けが低調だったことなどから、売上高は前年同四半期比8.0%減の4億92百万円となりました。セグメント損失は原材料費やエネルギーコスト高騰などにより17百万円（前年同四半期は67百万円の利益）となりました。

④ アジア

自動車、OA機器、医療向けが好調だったことから、売上高は前年同四半期比17.0%増の23億91百万円となりましたが、セグメント利益は原材料費やエネルギーコスト高騰などにより同6.1%減の1億27百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ23億40百万円増加し、275億48百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が18億2百万円増加し、141億23百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が3億32百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が10億60百万円、棚卸資産が2億39百万円増加したことによるものであります。また、固定資産合計額は5億37百万円増加し、134億25百万円となりました。主に、有形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額は201億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億61百万円増加しました。主な理由は、支払手形及び買掛金が1億91百万円、借入金が17億5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が74億1百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億79百万円増加しました。主な理由は、為替換算調整勘定が5億20百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は26.8%（前連結会計年度末は27.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,175,062	3,507,565
受取手形、売掛金及び契約資産	4,360,590	5,421,427
商品及び製品	1,462,752	1,424,715
仕掛品	835,012	832,363
原材料及び貯蔵品	1,693,896	1,974,059
その他	824,332	992,407
貸倒引当金	△31,090	△29,016
流動資産合計	12,320,556	14,123,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,359,678	4,455,222
機械装置及び運搬具(純額)	4,252,836	4,446,859
土地	1,428,985	1,482,955
その他(純額)	1,914,852	2,092,881
有形固定資産合計	11,956,352	12,477,918
無形固定資産	107,426	112,976
投資その他の資産	823,983	834,556
固定資産合計	12,887,763	13,425,450
資産合計	25,208,319	27,548,973
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,660,399	3,851,656
短期借入金	1,442,302	3,601,792
1年内返済予定の長期借入金	3,124,881	3,528,091
リース債務	216,004	227,924
未払法人税等	160,618	167,532
賞与引当金	283,980	369,055
その他	1,470,269	1,307,415
流動負債合計	10,358,456	13,053,469
固定負債		
長期借入金	5,398,400	4,540,900
リース債務	1,012,725	1,033,442
繰延税金負債	251,339	260,978
資産除去債務	54,244	55,041
退職給付に係る負債	1,159,114	1,153,615
その他	51,700	50,057
固定負債合計	7,927,524	7,094,036
負債合計	18,285,981	20,147,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	5,064,348	5,044,494
自己株式	△77,765	△77,996
株主資本合計	6,236,582	6,216,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,720	156
為替換算調整勘定	632,086	1,152,430
退職給付に係る調整累計額	19,354	23,788
その他の包括利益累計額合計	677,161	1,176,376
新株予約権	8,594	8,594
純資産合計	6,922,338	7,401,468
負債純資産合計	25,208,319	27,548,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,330,117	5,647,398
売上原価	4,103,208	4,571,264
売上総利益	1,226,909	1,076,133
販売費及び一般管理費	1,122,407	1,241,379
営業利益又は営業損失(△)	104,502	△165,245
営業外収益		
受取利息	4,164	7,791
受取配当金	1	1
受取賃貸料	17,795	25,975
為替差益	101,527	342,018
補助金収入	282	30,383
その他	8,031	13,358
営業外収益合計	131,802	419,527
営業外費用		
支払利息	53,918	57,963
その他	24,069	15,072
営業外費用合計	77,988	73,036
経常利益	158,316	181,246
特別利益		
固定資産売却益	62	703
特別利益合計	62	703
特別損失		
固定資産売却損	474	896
固定資産処分損	7,671	54
訴訟関連損失	31,026	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	43,986
特別損失合計	39,171	44,937
税金等調整前四半期純利益	119,206	137,012
法人税、住民税及び事業税	74,685	120,801
法人税等調整額	3,767	△5,020
法人税等合計	78,452	115,781
四半期純利益	40,753	21,230
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,753	21,230

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	40,753	21,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,373	△25,564
為替換算調整勘定	△29,215	520,344
退職給付に係る調整額	10,777	4,434
その他の包括利益合計	△34,811	499,214
四半期包括利益	5,942	520,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,942	520,445

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,152,869	597,449	535,800	2,043,998	5,330,117
セグメント間の内部売上高 又は振替高	278,718	—	7,455	33,504	319,678
計	2,431,587	597,449	543,256	2,077,503	5,649,796
セグメント利益又は セグメント損失(△)	121,835	△222,835	67,999	135,780	102,780

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	102,780
セグメント間取引消去	1,721
四半期連結損益計算書の営業利益	104,502

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,107,834	655,595	492,963	2,391,004	5,647,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	299,592	46	76,702	53,957	430,298
計	2,407,427	655,641	569,665	2,444,962	6,077,696
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,275	△283,002	△17,966	127,525	△165,168

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△165,168
セグメント間取引消去	△77
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△165,245

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。4. 報告セグメントの変更等に関する情報
該当事項はありません。